

パスワードの取り扱いについて

インターネット上のサービスには、アカウントを作成してから利用するものがたくさんあります。アカウントを作る際に必要となるのが、パスワードの設定。覚えやすいようにと簡易なものを設定してしまいがちなパスワードですが、そうしたパスワードを設定しているといつ危険な事態におちいらないとも限らないのです。

簡易なパスワードは推測されやすい

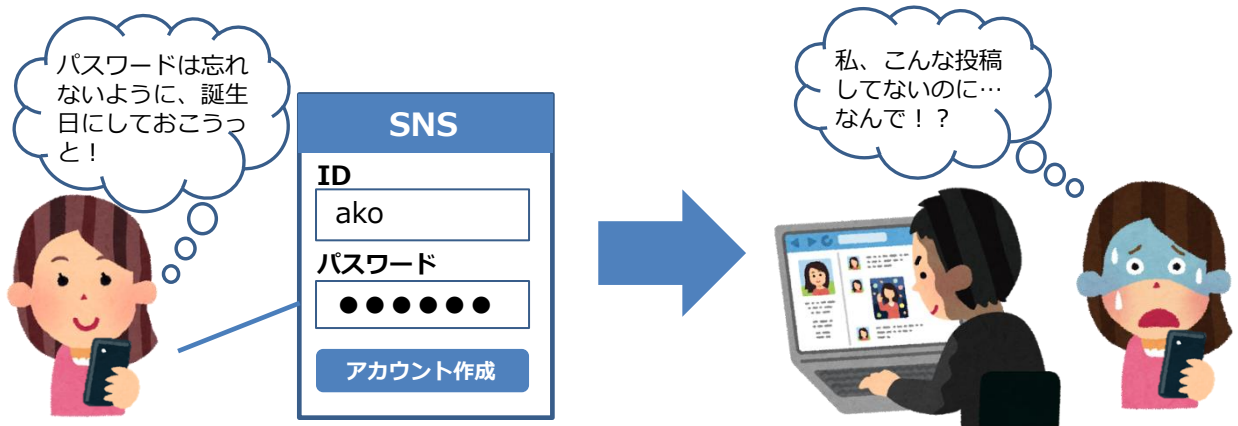
ではいったい、どんなパスワードが危険なのでしょう。具体的には以下のようなものがあげられます。

危険なパスワード

- ・名前や誕生日、電話番号など個人に関するもの
- ・連番や連続の英数字（1111、123456、abcde など）
- ・6文字以下の短いもの

このようなパスワードを設定していると、他者からパスワードを推測され、アカウントの乗っ取り被害にあう可能性があります。

アカウントを乗っ取られると、自分になりすまされ、詐欺目的で友人や家族にメッセージを送られたり、いたずら目的で不適切な投稿をされたりと、自分はもちろん、周りの人にまで被害が及んでしまうことがあるのです。



また、同じパスワードを複数のサービスで使いまわしていると、どこか一つのサービスで乗っ取られた場合、他のサービスで利用しているアカウントも乗っ取られてしまい、被害が大きくなってしまいます。

パスワードの適切な取扱いを

このような被害を防ぐためには、他人にパスワードを教えないことはもちろん、複数のサービスで同一のパスワードを使いまわさないようにしたり、定期的にパスワードを変更したりすることが大切です。そのうえで、以下のようなルールに従って、他者から推測されにくいパスワードを設定する必要があります。

- ・大小の文字、数字、記号を組み合わせる
- ・8文字以上にする
- ・名前や誕生日など推測されやすいものは避ける

こうしたことを学校全体で指導し、子どもたちにパスワードの適切な取り扱い方を身につけさせることが大切です。